

7. お茶と里山を楽しもう

牧之原台地コース (約17.7km)

学習テーマ



静岡県の中西部にある牧之原台地は、「牧之原大茶園」と呼ばれる全国最大級のお茶の生産地です。茶畑の広大な景色を眺めながら、実際にお茶の香りや味を楽しみましょう。

台地の斜面には谷津田や棚田、二次林の森などの里山が残っており、多くの生きものが生息・生育しています。富士山静岡空港の開港に伴って、新たに整備された「榛原ふるさとの森」や「赤坂池ビオトープ」などもあり、気軽に里山の自然観察を楽しむことができます。



START

新東名 島田金谷IC

10分

1 牧之原公園

牧之原大茶園の一角にあり、眼下には大井川、遠くには富士山・南アルプス・駿河湾を一望できます。また、市の天然記念物に指定されているカタクリの群生地として保護されています。3月下旬～4月上旬の開花期間中は、一般に公開されます。

2 お茶の郷博物館

牧之原大茶園を含めて世界のお茶の歴史や喫茶文化を学び、茶摘み体験や抹茶・茶葉子を味わうこともできます。周辺には広大な茶畑が広がります。
有料・休：火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始

3 上倉沢の棚田

牧之原台地の斜面に広がり、昔懐かしい風景が残っています。「静岡県棚田十選」に認定され、「NPOせんがまち棚田倶楽部」により、美しい景観を取りまく自然環境の保全・継承活動が行われています。

4 榛原ふるさとの森

昔から生息・生育する動植物を守り、人々にさまざまな恵みを与えてくれた里山の再生を目指して、森林や水辺が整備されています。里山の自然体験ができる場所として活用できます。

5 富士山静岡空港

空港ターミナルビル2階「スカイフォレスト」では、静岡県の自然環境を映像と写真で紹介しています。また、「石雲院展望デッキ」からは、滑走路や石雲院の森を見渡すことができます。側面に太陽光パネルを設置し、昼間使用する電力を賄っています。

6 石雲院

数多くの木が茂る自然豊かな森です。参道脇は土が削れ、さまざまな木の根が露わになっています。牧之原市の天然記念物に指定され、大井川が分布の東限といわれるトキワガキが見られます。



GOAL

富士山静岡空港 駐車場

環境学習プログラム

茶畑はどんな場所にある？

より多くの食料を得るために、古くから適地適作が考えられてきました。台地の上は水はけが良く、水田には向きませんでした。しかし、それがお茶の栽培に、茶畑に適していたのです。

地形の利用法について、実際に調べてみましょう。



里山で生きものを探そう！

里山では、二次林や人工林、竹林、谷津田、棚田、草地などの環境がつながって生態系をつくっています。実際にどのような環境に、どんな生きものが生息・生育しているのか観察してみましょう。直接見たもののほか、動物の足跡や糞、抜け殻なども手掛かりになります。



タヌキの足跡



タヌキのため糞

木の根を観察しよう！

石雲院に至る南側の道路脇は、普段はなかなか見ることができない「木の根」の様子が観察できる場所です。土が流出して下方に根が伸ばせなくなった時に支えとして発達する「板根」がさまざまな木で見られます。



露出した木の根



発達した板根